



# 学校だより

(3月号) 平成31年2月28日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
  - ・進んで勉強する子
  - ・自分からあいさつのできる子
  - ・仲よくたすけあう子
  - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》学校をきれいにしよう

## 昇 龍

校長 河井 尚

寒さも少しずつ緩み、春の気配が感じられるようになってきました。梅、桜、菜の花、連翹、雪柳、白木蓮などの春を彩る花々の開花も間もなくです。

本年度も弥生となりました。2月には、「6年生を送る会」(22日)、「巣立ちの会」(28日)が行われ、どちらも温もりのある素敵な会となりました。ありがとうございました。そして、今月22日には「卒業証書授与式」が挙行されます。私たちが最も大切にしている学校行事です。6年生はもちろんのこと、在校生代表で出席する5年生、全教職員が心を込めて、厳粛で温かい式になるように精一杯準備をします。当日は、その成果を保護者・地域・来賓の皆様にご覧いただき、6年生の門出を祝っていただきたいと思います。



さて、話は変わります。左の絵、見たことがありますか。葛飾北斎です。江戸時代後期に活躍した浮世絵師で代表作に『富嶽三十六景』『北斎漫画』などがあります。90歳まで描き続けました。左の絵は、北斎82歳の自画像の一部とされています。

北斎は、ゴッホなどの印象派画壇の芸術家や音楽家に影響を与え、フランスの作曲家ドビュッシーは、富嶽三十六景『神奈川沖浪裏』から発想を得て、交響詩『海』を作曲したとされています。数年前、北斎の肉筆画や祭り屋台の天井絵など数多くの見事な作品が展示されている『信州小布施 北斎館』を訪れました。最も印象に残ったのは、北斎最後の言葉と最後の作品「富士越龍図」(右図)でした。

北斎は90歳で亡くなる間際、次の言葉を残します。

「天我をして五年後の命を保ためしハ真正の画工となるを得べし(天がもう五年、私を生かしてくれれば、私は本物の画家になれたであろう)」

90歳になっても、大家、巨匠と言われるようになって、まだ追求しなければならないものがあるのだと言うのです。

「富士越龍図」には「巨星北斎が画業を成し遂げ天に昇る図であると捉えると、大変興味深いものがあります。」と説明がありました。

しかし、人物を描く為に接骨術や解剖学を極め、銅版画やガラス絵も研究、油絵も…と謙虚な態度で図画に挑み、意欲的且つ貪欲に学び続けた北斎のことです。私には「まだまだ追求し高みを目指す」北斎が龍の姿となって昇っているように思えます。

しびらきっ子よ、新年度新天地で昇龍の如き活躍を。

保護者、地域の皆様、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

